

# 中野島のひるば

2008年3、4月  
市議会報告  
日本共産党  
市会議員

井口まみ

(発行)  
日本共産党市会議員団  
川崎市川崎区宮本町1  
電話 200-3360  
FAX 245-4140  
http://www.iguchi-mami.jp  
メール: mail@iguchi-mami.jp

# 地域交通安全員の配置は一日5時間に！

## 井口市議、3月議会で質問

危険な交差点などに立って小学生の登下校時の安全を守ってくれているのが、「児童等交通誘導員」と「地域交通安全員」の方たちです。同じように街角に立っていても、この二つの制度はまったくちがいます。二年後には一本化されるのですが、問題点が明らかになりました。

### 児童等交通誘導員は

#### あと二年で廃止

きちんと制服を着て朝も夕方も立っているのが「児童等交通誘導員」です。県の制度で市も補助金を出して、一日五時間の勤務になっています。長い方は二〇年以上この仕事をしており、子どもの名前も覚えて、とても慕われている存在です。県はこの間、退職後の補充をせず、ついにこの「児童等交通誘導員」の制度を、平成二十一年度で廃止することにしました。

### 地域交通安全員は

#### 一日一時間

児童等交通誘導員が減っていきなから、「危険な交差点には誰か立ってほしい」と強い要望に市の教育委員会が「臨時交通整理員」を配置しました。これが昨年「地域交通安全員」と名称を変えました。基本的には朝一時間のみで、学校から要望があれば放課後一時間半は配



たくさんの子どもが通う朝の交差点で、交通整理をする、地域交通安全員

置します。制服もなく、黄色い旗と腕章が支給されるだけで、給与もわずかな時給です。川崎市は、児童等交通誘導員が廃止されたあとは、この地域交通安全員の制度で、子どもたちの安全を守るとしています。

### 井口市議、朝の様子を視察

そこで井口市議は、昨年七月

### 現在、近隣に配置されている

#### 児童等交通誘導員

#### ◎サミット前

#### 地域交通安全員

#### ◎中野島中央通交差点

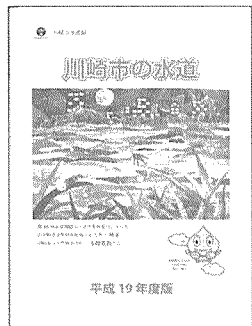
から中野島中央通商店街の交差点に配置されている地域交通安全員の方の仕事を視察しました。道路が狭くて信号待ちの待機場所もない交差点に、小学生がどつとやってきます。もちろんよろしている子どもたちの危ないこと。安全員さんは少しも気が抜けません。ここには一昨年まで児童等交通誘導員がいました。退職。一年半さん探して、ついにPTAのなかからお願したのだそうです。一日一、二時間のために、毎日自分の生活を犠牲にして、こんな責任の重い仕事をする人はなかなか見つからないのです。

### 長く続けられるよう改善を

井口市議は三月七日の予算審査特別委員会で、「一日五時間立つことが何よりも子どもの安全の確保に必要。そしてそれがプロとして働ける条件」とただし、木場田教育長は「業務内容は『一人一人の顔が見える』、蓄積が必要なもの」「業務遂行に

# 生田浄水場はなぜ廃止されるのか その1

※前号で生田浄水場が廃止される計画であることをお知らせしたところ、多くの方から「なぜなのか」と問合せがありました。短い文章では十分説明しきれないため、何回かに分けて、川崎市の水道の歴史や今の計画について、お知らせします。



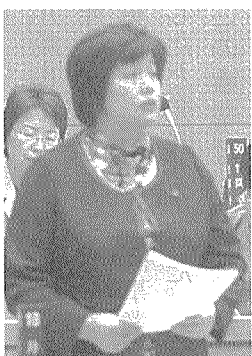
川崎市発行「川崎市の水道」小学生向けの副読本歴史など詳しく載っている

水道事業というのは、重要なライフラインである水を、安全に途切れることなく市民に供給するという大切な役割を持っています。また、川崎市には工業用水道事業というものもあり、臨海部の工業地帯に、工業用の水を安定的に供給するという仕事もしています。

水は命にかかわるため、市民に責任を負うという観点から、市の人口の最大値を推計して、最もたくさん使うときで一日何キロリットルの水が必要かということ、条例で定めることになっています。この三月、条例を改正し、今の川崎市の計画給水人口は約一四七万人、上水の一日最大給水量は約六三万立方メートルと定められています。

明治以後、人口も産業も急速に発展した川崎市は、水の需要も急激に伸び、それを追いかけて水を確保し、設備投資をしてきました。戦前は多摩川の水を取り入れていましたが、多摩川の水を割り当ててもらえなくなったことや、水質も悪くなったことから、飲み水

（つづく）  
この翌年、県、横浜市、川崎市、横須賀市が出資して、酒匂川から水を引く「神奈川県内広域水道企業団」が設立されます。



3月議会で質問する井口まみ市会議員

# 中野島南部地域に公園を

## 町会の陳情署名、環境委員会で「採択」に

一月三〇日、中野島町会の古谷町会長を代表とする、「中野島南部地域に緑地公園の設置を求める陳情」が、川崎市議会環境委員会で審議され、全会一致で採択されました。井口まみ市議も、環境委員として、審議に参加。地元の実情を伝えました。

### 南部地域には公園が一ヶ所しかない

審議に先立ち、環境局公園緑地課から、中野島の公園の実態について報告があり、中野島一、二、三丁目の地域には、中野島中学校の西側にいる中野島二カ領公園しかないことが明らかになりました。公園用地として考えられる農地が九三カ所、駐車場が四〇カ所あることが報告されました。

### 借地でも公園にできる

井口市議は、「梨畑を公園にするわけにはいかない。紹介された農地のなかで、公園にできる土地はどういうものがあるか」とたずねると、公園緑地課長は「荒地や耕作放棄地などがあるので、それを候補地にしたい」「地権者から

土地を借りて整備することができるとこたえました。

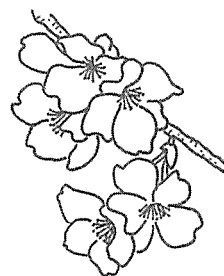
農地を借地にする場合、生産緑地からははずさなければなりません。都市計画税や固定資産税などが免除され、五〇〇平方メートル以上の土地を二〇年貸すと、相続税の評価が四割減になるなど、地権者に優遇措置があることもあきらかになり、井口市議は「そういう説明をして協力を訴えれば、候補地はみつかる

のではないかと。市のほうから積極的に働きかけをして、早く公園を作ってほしい」と訴えました。丸山環境局長は、「積極的に地主さんに当たっていききたい」とこたえました。

### 「市はがんばって」

すべての会派の議員が発言し、「がんばっていただきたい」という意味で『採択』すべし」など、全会一致で、「採択」することが決まりました。

これにより、中野島南部地域に公園を作ることは議会の意思となり、川崎市はそれを尊重して、実現に向けて動き出すこととなります。



ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

川崎市は今年2月、中原区井田にある、障害者施設がいくつも集中している「川崎市総合リハビリテーションセンター」を再編整備する計画を発表しました。老朽化した施設を改築するにあわせ、組織も再編するという

ものが、民間でがんばっています。井田にある、障害者施設がいくつも集中している「川崎市総合リハビリテーションセンター」を再編整備する計画を発表しました。老朽化した施設を改築するにあわせ、組織も再編するという

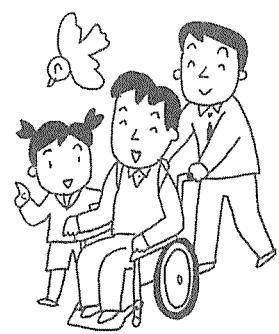
者が民間でがんばっています。しかし、障害者自立支援法ができてから、事業所への報酬が極端に減り、どこも運営に四苦八苦しています。とくに入所施設は報酬が低く、存続の危機にあります。

## 障害者施設の民営化は福祉の重大な後退

日本共産党は三月議会で、「障害者施設の民営化は、福祉の重大な後退」と代表質問などでとりあげました。

市内には、多くの障害者施設があり、社会福祉時法人な

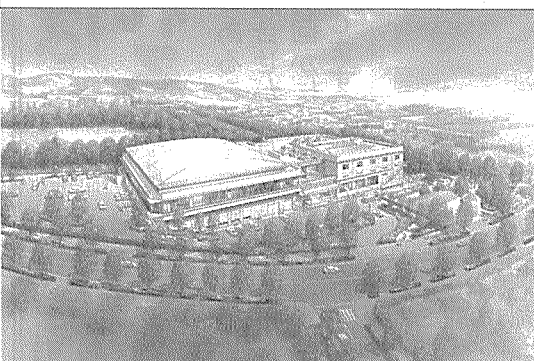
リハビリテーションセンターには、いまは四つの市直営の入所施設がありますが、福祉に手厚かった川崎の歴史を受け継ぎ、国基準よりも多い人員配置になっています。それでようやく、一人一人の障害



さんも戸惑っています。福祉に冷たいところとがこころいうところにも現れています。

# 多摩スポーツセンターの事業を行う事業者が決定 2010年12月開館に向けて始動

落札者の提案外観イメージ図  
本図は参考資料として提出されたものであり、実際の建築イメージとは異なる場合があります。



川崎市は三月一九日、(仮称)多摩スポーツセンターをPFI事業で実施する民間事業者を決定したと発表しました。

この事業は、設計、建設から運営まで一貫して民間事業者が行う手法で、まずこの事業を請け負う民間の事業者のグループを募集します。その後このグループを中心に株式会社を設立し、実際の建設に入ります。

落札したのは、  
大和リース株式会社グループ  
代表企業 大和リース株式会社横浜支店

構成企業  
株式会社ハリマビステム  
株式会社日本水泳振興会  
株式会社梓設計

このことです。落札金額は三十四億八千六百万円(消費税、地方消費税を含まない)。二〇一〇年十二月開館をめざします。

温水プールを作る運動を始め、さまざまな市民の要望を議会で取上げてきた井口まみ市議は、「これからも市民のためのスポーツセンターにするために意見を述べていく」と語っています。